

ユニセフ・キャラバン・キャンペーン ユニセフ活動の普及啓発を目的に、日本ユニセフ協会では4年間で全国を一巡するキャンペーンを1979年の国際児童年にスタート。宮城県への訪問は10回目を迎えました。10月25日は県知事（佐野好昭副知事）、高橋仁県教育長を表敬訪問。メッセージ交換を通じて、ユニセフへのご支援に感謝の意を表すとともに、さらなるご協力とご支援をお願いしました。午後には、教職員50名に「ユニセフ研修会」を実施し、ユニセフ活動の説明に加え、「持続可能な開発目標（SDGs）」に関するワークショップを行いました。翌26日は利府町市立菅谷台小学校としらかし台中学校で「ユニセフ学習会」を実施しました。世界の子どもたちが直面する課題について映像を交えながら説明し、「水がめ」や「蚊帳」の体験、栄養不良を見つける「上腕計測メジャー」など、様々な体験を通して自分にできることを考える機会となりました。



高橋教育長(右)とメッセージ交換



教職員対象のユニセフ研修会



学校でのユニセフ教室～「蚊帳」体験

ユニセフ写真展 @みやぎ生協文化会館ウィズ

■長谷部誠大使がたどる「ワクチンの旅」11/28～12/8



2017年、エチオピアでワクチンを届けるユニセフの活動に同行し、現地の人々との交流の様子を写真パネルでお知らせしました。全国巡回している写真展です。

■言葉より多くを語るもの

～ロヒンギャ難民の子どもたちを癒す「心のケア」～ 12/11～12/25 ミャンマーからバングラデシュに逃れ、「心のケア」支援を受け、少しずつ子どもたちに笑顔が戻ってきた様子が、描かれた絵から感じることができます。



1日も早く平穏な暮らしに戻れますように祈ります。

出前授業 学校や団体

などからの依頼により、ユニセフ学習会を実施しています。対象年齢や時間、人数、希望のテーマに応じて内容を組み立てています。仙台市立北仙台小学校5年生(11/16)、聖ドミニコ学院小学校全年(11/28)、名取市立ゆりが丘小学校6年生(12/10)のみなさんといっしょに学習し、たいへんな暮らしをしている子どもたちに思いを馳せました。世界中の子どもたちが学校で学ぶことがで



できればいいなあ。

二院 聖
年小 ド
生小 米
校 尼
一 科
学 学



11月30日、2018年度第2回理事会をフォレスト仙台の会議室で開催しました。今年度の事業経過報告と事業費の収支経過報告、来年度の事業計画と収支予算案を協議していただきました。ボランティアで活用している『ユニセフ学習／資料集』の中から、「SDGsクイズ」を理事の方々にもトライしていただき、「持続可能な開発目標」に触れていただきました。

